

平成23年度
全国学力・学習状況調査
問題を活用した北海道
における学力等調査

豊頃町の児童・生徒の 学力や生活習慣は？

【豊頃町教育委員会・豊頃町教育研究所】

●全体的な傾向

昨年9月に実施した「全国学力・学習状況調査問題を活用した北海道における学力等調査」の平均正答率において、小学校では国語、算数ともに全道平均を下回っています。中学校では国語、数学ともに全道平均を上回っています。内容を詳しく見ると、小学校では漢字の読み書きや話す・聞く力は身に付いてきていますが、叙述に沿った読み取りや抜き出して書くことに課題が見られます。中学校では全体的におおむね理解できています。特に、知識理解力や読み取り力がきちんと身に付いています。

町内の学校では、このような結果を踏まえ、以下の具体的な取り組みを行います。また、家庭との連携・協力を図りながら学習習慣や生活習慣などの改善に努めることも必要であると考えています。

学校では、子ども一人一人にまず基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身につけさせ、次にそれらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む意欲や態度を養うことが求められます。

この調査は、全道的な学力や学習状況を把握・分析し、教育水準の維持向上の観点から教育施策の検証と改善を目的に実施しています。本町の小・中学校は希望校として調査に参加しました。調査内容は、国語や算数・数学の「知識」や「活用」に関することと、学習意欲や生活習慣、学習環境に関することです。

<中学校>

【国語】

- ・読んで理解する、自分の意見をまとめて書いたり、発表したりするなどの学習活動を意図的に取り組みます。
- ・漢字や語句を正しく使って文章を書くことや表現方法や語彙の広がりを意識した学習活動に取り組みます。
- ・テストで間違えた問題の直しにより、理解を図ります。
- ・読書活動の習慣化を目指し、継続して朝読書や読書の仕方の学習に取り組みます。

【数学】

- ・基本的な計算問題を数多く解くなど、繰り返しの学習にも取り組みます。
- ・理解した知識を応用し、発展的な問題を解決させたりして、理論立てて解答する指導を重視します。
- ・チームティーチングによる習熟度別指導や個別指導により、生徒のつまづきへの指導を行います。



児童生徒の学習習慣や生活習慣の傾向 ~児童生徒質問紙調査から~

<小学校>

- ・生活面では、生活リズム（「早寝・早起き・朝ご飯」）が身に付いていますが、テレビやゲームの時間が長く、家庭での学習や読書の時間が短い傾向にあります。
- ・苦手なことや難しいことを避ける傾向にあります。
- ・自分から進んで挨拶したり、地域行事に参加したりすることはできています。
- ・家庭での会話が長く、よく手伝いをしています。



《具体的な方策》

- ◇学校では、「分かる・楽しい授業づくり」に努め、子どもの学ぶ意欲を高め、学ぶ楽しさを実感させるとともに、学習の仕方や学習習慣を身に付けさせるよう取り組みます。
- ◇家庭では、一日のテレビやゲームをする時間を決めるなど、生活リズムの見直しを行い、家庭学習や読書、手伝い、会話する時間をつくるなど学校と協力して取り組みましょう。

<中学校>

- ・食事や起床・就寝時間など、生活習慣に関しては身に付いています。
- ・家庭での学習時間は少ない傾向にありますが、宿題をしたり、読書をしたりしている時間が多い傾向にあります。
- ・学校が楽しいと感じている割合が高く、将来の夢や目標をもっています。また、達成感を味わう体験や失敗を恐れないで挑戦する気持ちも高い傾向にあります。
- ・「人の気持ちが分かる人になりたい」「進んで人を助ける気持ち」など、自分の高まりへの自信をもっている割合が高い。
- ・長文を書いたり、説明したりすることが苦にならない傾向にあります。

《具体的な方策》

- ◇家庭学習の定着を目指し、引き続き宿題や課題を与え、家庭学習ノートを活用したり、テスト前の学習計画表を提出させたりするなど、家庭と連携した学力向上への取り組みに努めます。
- ◇将来の夢や目標が見出せるよう、道徳や総合的な学習の時間、部活動などを通じて、自分の生き方や在り方を考えられるように働きかけ、豊かな心の育成を柱とした学力の向上に努めます。

<小学校>

国語A（知識）

漢字の読み書きや話す・聞く力はおおむねできていますが、内容をまとめて書いたり、言葉を選択する力に課題が見られます。

国語B（活用）

話すことや聞くことはおおむねできていますが、叙述に沿った読み取る力に課題が見られます。

算数A（知識）

図形に関する内容はおおむねできていますが、少数や分数の計算に課題が見られます。

算数B（活用）

問題の内容やグラフの読み取る力に課題が見られます。

<中学校>

国語A（知識）、国語B（活用）

話す・聞く能力、読む能力、言語などの知識理解や内容の読み取る力も高く、全体的によく理解できています。

数学A（知識）、数学B（活用）

基本的な計算や図形に関する知識が身に付いています。数学的な見方・考え方も理解できています。分数の乗法計算や関数関係の意味の理解などに課題が見られます。問題解決の方法を振り返って、発展的に考える問題には課題が見られます。

児童・生徒の学力の傾向
（教科：国語、算数・数学）

児童生徒をより伸ばすための学校の取組（改善策）

<小学校>

【国語】

- ・書くこと（ノートやワークシート、プリントなど）を重視した授業を通して、書かれている内容を理解し、言葉を選んでまとめる力を身に付けさせます。
- ・引き続き、朝学習や授業での漢字練習や短文づくりなどの活動に取り組みます。
- ・音読の時間を確保したり、朝読書や家庭での読書に取り組んだりして、内容を読み取る力や自分の考えを短くまとめて書く力を高めます。
- ・個に応じた指導方法や手立てを工夫した授業づくりに努めます。

【算数】

- ・学習内容の要点や数学的な考え方・見方の復習によって、計算力や答えの求め方等の基礎的・基本的な事項を定着させます。
- ・問題を読解する力を付けることによって、問題文のポイントや解決の糸口を見つける力、問題を解決する力を身に付けさせます。

豊頃町の児童・生徒の学習・生活の充実のために

- ◎ 学校では、学習規律の定着と同時に、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着に努めます。また、学習の指導方法や授業の工夫・改善によって、子どもの学びの意欲を高めるよう取り組みます。
- ◎ 家庭では、学校と連携・協力して、子どもの生活習慣等（「早寝・早起き・朝ご飯」、手伝い、TVやビデオ視聴時間）を見直し、家庭学習の習慣化に取り組みましょう。

問合せ先 教育課学校教育係 ☎ (579) 5801